

〈福岡支部〉  
九州大学における  
新たな学生支援の取組

国立大学が法人化され、また学生全入時代が間近に迫り、各大学においては、今まで以上に教育の充実、細かな学生指導、施設整備など学生支援の拡充が必要となってきた。

このような状況において、今回は特に九州大学が新たに取り組んだ学生支援事業の中で特色あるものと九州大学工学系の約半分が福岡市西方の新キャンパス（伊都キャンパス）へ移転し、平成一七年一〇月に開校したので、これに関する学生支援情報も含めて紹介したい。

一 学生の自己啓発促進のためのスキルアップ・プログラムの創設

① 新入生に対するTOEFLまたはTOEIC模擬テスト

入学後の学生の実践的英語能力を客観的に理解させ、将来の目標に向けた自覚を促し、かつ、英語によるコミュニケーション能力養成に繋げる契機とすることを目的に、学部新入生全員を対象としたTOEFL（TOEFL ITP）またはTOEIC（TOEIC ITP）による模擬テ

ストを学内施設において実施している。

② 自己表現能力育成プログラム

学生が企業等への就職や研究活動に必要なプレゼンテーション能力を育成することを目的とし、二〜三年次の学部学生を対象に、学外から講師を招き、独自のプログラムによる講義・実践演習等を実施している。さらに、日本で就職を希望する留学生を対象に、日本語で円滑にコミュニケーションを行える力の育成と、大学での研究活動における人間関係をよりよく充実したものにする目的で、留学生のためのコースも実施している。

③ 英語コミュニケーション能力養成プログラム

現在の企業は、英語によるコミュニケーション能力を重視していることから、就職支援活動の一環として、二〜三年次の学部学生を対象に、外国人講師による実務英語能力養成プログラムを実施している。プログラムは、「ビジネス英語コース」と「TOEIC七五〇点コース」の二コース（各コース九〇分）をセットとして、一四週（事前・事後に実施するTOEIC ITPテスト二週を含む）開講している。

二 全学教育における放送大学授業履修支援プログラムの開設

放送大学の授業科目には、特色ある科目が多数開講され

ていることから、学生の幅広く深い教養の養成に大いに寄与できるものとして、九州大学と放送大学との間に単位互換に関する協定を締結した。大学が指定する放送大学の授業科目を履修し、単位を修得した場合は、九州大学の全学教育科目として、学部在学期間中に二科目四単位を限度として認定する。

三 学生の就職相談体制等の充実

産業構造の変化や企業の厳選採用など厳しい就職活動に備えて就職相談が顕著に増大していることから、専用相談室を設置し、就職相談員を二人体制とし、相談日の増設（週四日制）を図っている。また、従来から実施していた就職ガイダンスの内容を見直し、部局別企画や留学生を対象とした企画の実施などの充実を図った。特に、留学生に対しては、留学生向け「就職の手引き」を作成し、就職支援を強化している。

四 新キャンパスにおける学生支援

学生がキャンパス間を移動して授業科目を履修することが困難なことから、教員が移動して講義するなど、学生に不便を来さないような方策を取り入れている。

また、新キャンパス移転当初は、生活環境等の変化で、

修学や生活に関する問題など、種々の悩みを持つ学生が増加

することが想定されることから、学生生活・修学相談室と健康科学センターそれぞれに伊都キャンパス分室を設置し、学生の生活・修学相談や健康・メンタルヘルス相談にに応じている。さらに、留学生の生活相談等に対応するため、留学生センター留学生指導部門の教員による巡回相談を実施している。

ここでは、九州大学が最近取り組んでいる特色ある学生支援の一部を紹介した。また当支部では、九州大学の関係部署と協力しながら、九州大学伊都キャンパスの留学生のために、指定宿舎のPRに務めるなどの支援を行っている。

各大学等においては、大学共通のもの他に大学独自の教育方針等に沿った学生支援が必要と考えられる。今回紹介した情報に何か参考となるものがあれば幸いである。



九州大学伊都キャンパス